そう、道徳は楽しい



「特別の教科道徳」 アシスト 6



令和4年3月

長野県教育委員会

道徳教育によせて

道徳教育とは

道徳教育は、人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、同時に、民主的な国家・社会の持続的発展を根底で支えるものです。また、道徳教育を通じて育成される道徳性、とりわけ、内省しつつ物事の本質を考える力や何事にも主体性をもって誠実に向き合う意志や態度、豊かな情操などは、「豊かな心」だけでなく、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、「生きる力」を育むために極めて重要なものです。

道徳教育の目標

他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う

「考え、議論する道徳」へ

道徳教育は、児童生徒の人格の基盤となる道徳性を養う重要な役割があることに鑑みれば、本県においても、その充実に取り組んでいく必要があり、指導方法の工夫を図ることなどが求められます。このことは、「特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない」、「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべとを変されるの中央教育審議会答申を踏まえ、発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換を図るものです。

夢や希望などを共に語り合う

特に、道徳科の学習では、これまでも実践されてきたように、教師が生徒と共に人間の弱さを見つめ合い、考え合った上で、夢や希望などを共に語り合うような姿勢をもつことが大切になります。

<アシスト6 もくじ>

- P1 道徳教育によせて
- P2 道徳科の授業構想
- P3 道徳科の主題と学習指導過程
- P4 主体的・対話的で深い学び(「考え、議論する道徳」)の視点からの授業改善
- P5 道徳科の評価について
- P7 生きて働く指導計画の作成
- P9 道徳科の授業におけるICTの活用
- P10 実践事例 A 小学校 (令和 2 年度 長野県道徳教育研究推進校)
- P11 実践事例 C中学校 (令和 2 年度 長野県道徳教育研究推進校)
- P12 実践事例 E 小学校 (令和 3 年度 長野県道徳教育研究推進校)
- P13 実践事例 G中学校 (令和3年度 長野県道徳教育研究推進校)
- P14 内容項目

道徳科の授業構想

指導の意図を明確にするために





児童生徒 の実態

教材の 活用

道徳的

価値

道徳的

価値

ねらいとする道徳的価値について、学習指導要領に示された内 容項目に基づき、明確な考えをもちます。

●道徳的価値の意義を理解し、指導の考え方を明確にする。

ねらいとする道徳的価値について、日頃どのような指導を行い、 その結果としての児童生徒にどのようなよさや課題があるのか、 その上で、本時で学ばせたいことは何かを明らかにします。

●日頃の教育活動を振り返り、児童生徒の実態を明確にする。

児童生徒 の実態

授業者の意図、児童生徒の実態をもとに、教材をどのように活用 し、どのような学習を行うのかを明らかにします。

●指導の意図を明確にした教材の活用、学習展開を明確にする。

教材の 活用

本時の道徳科の授業で、道徳性の諸様相のどの様相に焦点を当てるかが決まります。

道徳性の諸様相

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格的特性であり、道徳教育は道徳 性を構成する諸様相である道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度を養うこ とを求めています。

これらの道徳性の諸様相には、特に序列や段階があるということではありません。一 人一人の児童生徒が道徳的価値を自覚し、自己の生き方についての考えを深め、日常生 活や今後出会うであろう様々な場面、状況において、道徳的価値を実現するための適切 な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質を意味しています。

・判断力を 育てる。

・心情を 育てる。



道徳性の諸様相

・実践意欲 を育てる。

態度を 育てる。

道徳的判断力

それぞれの場面において善悪を判断する能力 道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うこ とを喜び、悪を憎む感情

道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的 価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具 体的な道徳的行為への身構え

●道徳科の主題と学習指導過程

道徳科の主題

授業には、ねらいと教材で構成した主題があります。

ねらい

道徳科の内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値や道徳性の様相を端的に表したもの

教材

教科用図書やその他、授業において用いる副読本等

主題名

ねらいと教材で構成し、授業の内容が概観できるように端 的に表したもの

※主題設定の理由等の記述にあたっては、<u>児童生徒の肯定的な面やそれを更に伸ばしていこうとする観点からの積極的な捉え方</u>を心掛けるようにします。

道徳科の学習指導過程

※ 特に決められた形式はありませんが、一般的には導入、展開、 終末の各段階を設定することが広く行われています。

導入

主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に自己を見つめる動機付けを図る段階

- 本時の主題に関わる問題意識をもたせる導入
- 教材の内容に興味や関心をもたせる導入 など

展開

ねらいを達成するための中心となる段階であり、中心的な教材によって、児童生徒一人一人が、ねらいの根底にある道徳的価値の理解を基に、自己を見つめる段階



- 児童生徒の実態と教材の特質を押さえた発問などをしながら進める
- 児童生徒がどのような問題意識をもち、どのようなことを中心に して自分との関わりで考えを深めていくのかについて主題が明瞭 となった学習を心掛ける

終末

ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをま とめたり、道徳的価値を実現することのよさや難しさな どを確認したりして、今後の発展につなぐ段階

- 学習を通して考えたことや新たに分かったことを確かめる
- 学んだことを更に深く心にとどめる
- これからの思いや課題について考える



学習指導過程や指導方法の工夫

手段



主体的・対話的で深い学び

「考え、議論する道徳」

- 問題意識をもつ
- 自分との関わりで捉えて考える
- ●多面的・多角的に考える
- 自らを振り返る
- 自己の(人間としての)生き方に ついての考えを深める

目的

道徳的な判断力、心情、 実践意欲と態度を育てる

※特に、次の二つの視点からの授業改善を進めましょう。

●自分との関わりで捉えて考える

読み物教材の登場人物の心情理解にのみに終始せず、「自分だったら…」と自分事として考えることができるようにします。

- (例)・教材の登場人物に自分を置き換えて考える。
 - ・教材の問題点等を自分事として受け止めて 考える。
 - ・日常生活や学校生活等を想起しながら考える。

多面的・多角的に考える

他者と対話したり協働したりしながら、様々な視点から物事を理解する学習を通して、価値理解と同時に 人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、 判断し、表現する力などを育みます。 問題解決的な学習の工夫

道徳科における問題とは道徳的価値に根差した問題であり、単なる日常生活の諸事象とは異なります。

道徳的な問題(例)

- ① 道徳的価値が実現されていない ことに起因する問題
- ② 道徳的価値のことは理解しているが、それを実現しようとする 自分とそうできない自分との葛藤から生じる問題
- ③ 複数の道徳的価値の間の対立から生じる問題 など

問題解決的な学習では、教師と児 童生徒、児童生徒相互の話合いが十 分に行われることが大切です。



道徳的行為に関する体験的な学習等を取り入れる工夫

自分との関わりで多面的・多角的に考えるために、道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れることが考えられます。

- ① 実際に挨拶や丁寧な言葉遣いな ど具体的な道徳的行為を通して、 礼儀のよさや作法の難しさなど を考える。
- ② 教材に登場する人物等の言動を 即興的に演技して考える役割演 技など、疑似体験的な表現活動 を取り入れた学習。

価値理解

人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること。

人間理解

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること。



他者理解

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は 一つではない、多様であるということを前提として理解すること。

●道徳科の評価について

1.道徳教育と<mark>道徳科</mark>の評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

道德教育

教育活動全体で見られた 児童生徒の道徳的な行為

行動の記録

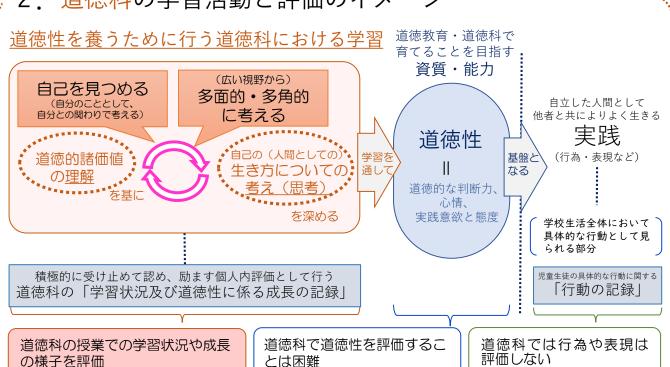
総合所見及び指導上参考となる諸事項

道德科

児童生徒の学習状況及び 道徳性に係る成長の様子

- 教育活動全体で見られた児童生徒の道徳的行為についての評価は指導要録の「行動の記録」や「総合所見及び指導上参考となる諸事項」へ記入。
- 授業における児童生徒の学習状況及び道徳性に係る成長の様子について の評価は指導要録の「特別の教科 道徳」へ記入。

2. 道徳科の学習活動と評価のイメージ



参考資料:「令和3年度道徳教育推進研修(NITSオンライン研修)」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見哲也氏 講義資料

「平成29年度道徳教育指導者養成研修(中央指導者研修)」

文部科学省初等中等教育局 主任学校教育官 小野賢志氏 講義資料

3. 道徳科における評価の視点

道徳的諸価値についての理解を基に

- (1)子供が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか。
- (2)道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。 自己の(人間としての)生き方について考えを深める。

評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、上記の(I)(2)の点を 重視することが重要です。



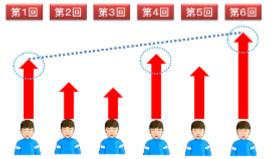
- 4. 道徳科において、子供の学習状況や道徳性に係る成長 の様子を見取り、評価に活用するための工夫
 - ✓ 1単位時間の授業での子供の発言や感想文、質問紙の記述等から見取る例
 - ◆一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか
 - (例) G さんは、本当の親切とはどのようなことかを自分の立場と相手の立場を比べながら考えていた。
 - ◆道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか
 - (例)Hさんは、教材のお話と身近な祖父の死を重ね、生命は唯一無二の かけがえのないものであることを実感していた。



子供の学びを見取り、評価に活用するための具体的な工夫として、例えば、 上記のように、子供の学習の過程や成果などの記録を計画的に蓄積してい くことが考えられます。

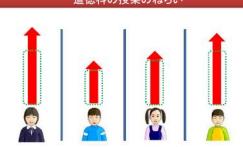
5. 大くくりなまとまりを踏まえた個人内評価

学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握



学習状況を時間的に縦に並べて、進歩の状況を認める

成長を受け止めて<mark>認め、励ます</mark>個人内評価 道徳科の授業のねらい



他者との比較ではなく、子供の学びの姿を把握する

年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で、子供の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握します。そして、他者との比較ではなく、子供がいかに成長したかを積極的に認め、励ます個人内評価として記述式で行います。



○生きて働く指導計画の作成

自校の道徳科を道徳教育の要とするために...

道徳教育の全体計画等の見直し

- ①道徳教育で育てたい子供像を明確にする →道徳教育の重点目標を設定する
- ②各学年の重点目標、内容項目の重点を設定する
- ③道徳科の指導方針を明確にする

日本国憲法 教育基本法 学校教育法

学習指導要領

「生きる力」の育成

力, 人間性等の涵養

生きて働く知識及び技能の

習得、思考力, 判断力, 表

現力の育成、学びに向かう

道徳教育や体育などの充実

により、豊かな心や健やか

○○県の教育の目標

学校教育目標

- ○進んで学ぶ子
- ○心豊かな子
- ○たくましい子

→ |道徳教育の重点目標

- よく考え、くじけず努力して自分を向上させる。
- 広い心で、互いの長所を認め合い、友達と 仲良く助け合う。
- ○働くことに喜びを感じ、進んで公共のため に役立とうとする。
- 自他の生命を尊重し、美しいものや気高い ものに、素直に感動する心をもつ。

教職員の願い

な体の育成

- 自ら分からないことややり たいことを伝えてほしい
- 思いやりの気持ちをもち、 友達と仲良く協力してほしい
- 素直な気持ちで自分を反省 し、より高い目標に向かっ て努力してほしい
- 自分の仕事に責任をもち、 役割をやり遂げてほしい
- 生命を大切にする心をもち 節度ある生活をしてほしい

学年重点目標

低学年

- わがままや自分勝手なことをしないで、最後までがんばる。
- 友達と仲良くし助け合う。
- 働くことの良さを感じて、みんなのために働く。
- 生命の大切さに気付き、生命を大切にする。 中学年
- 自分の長所に気付き、よいところをのばす。
- 友達と互いに理解し合い、信頼し、助け合う。
- みんなで協力し楽しい学校や学級をつくる。
- 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。 高学年
- より高い目標をたて、困難があってもくじけずやり抜く。
- 男女が仲良く協力し、相手の立場を理解し合う。
- 働くことや社会に奉仕する意義を理解し、進んで役に立とうとする。
- ・だれに対しても公正公平に、正義の実現につとめる。
- 生命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する。D

児童の実態

- 自ら課題を見出し、追究できる
- 仲良くしたい気持ちはあるが、進んで関わろうとすることが少ない
- 最初は頑張って取り組もうとするが、途中であきらめてしまうことがある

地域・保護者の実態

- 若者人口の減少により児童 数は減少傾向にある
- 教育の関心が強く、PTA活動や育成会活動等も熱心である
- 地域との交流や行事等も多く、地域ぐるみで子供を見 守ってくれている

子供の願い

Α

R

С

D

Α

В

С

D

Α

R

С

С

- 自分の得意なことを伸ばしたい
- もっと仲間と協力して活動 したい
- 最後までできる自分になり たい

保護者の願い

- 楽しく学校へ通ってほしい
- ・基本的生活習慣や意思の判 断をしっかり身に付けてほ しい
- 自他の生命を尊重してほし
- 素直な心で友達と協力して 生活してほしい
- 思いやりのある言動を進ん で行ってほしい
- ・ 地域の行事等に参画してほしい

道徳教育推進教師の役割

~全体計画の見直し~

校長先生の方針の下、道徳教育推進教師が中心となって全体計画の見 直しを適宜行い、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の指導を充 実させていきましょう。



道徳教育の重点目標を具体化するために...

重点的な指導ができるように工夫する

- (1) 各教科等と内容項目のつながりを明確にする
- (2) 特色ある教育活動や豊かな体験活動との関連を図る
- 【道徳教育 全体計画 別葉】
- (3) 重点的に指導しようとする内容項目の指導時間数を 増やす
 - ・一定の期間をおいて繰り返し取り上げる
 - 何回かに分けて指導するなど
- (4) 一つの主題を2単位時間にわたって指導する

【道徳科 年間指導計画】

【道徳教育全体計画 別葉の例】

内容項目	国語	算数	 学校行事	• • •
礼儀	お願いやお礼の 手紙を書こう(10月)		入学式(4月) 卒業式(3月)	
規則の尊重	図書館へ行こう(6月)	折れ線グラフと数 角の大きさ(11月)	運動会(5月) 校外学習(9月)	

【道徳科年間指導計画 主題配列の工夫の例】

学期	月	週	回	主題名	内容項目	教材名(教科書以外	ちゅう (大の出典)	備考
		1	1	一日の始まり	B 礼儀	00000		
	4 月	2	2	安全な生活	A 節度、節制	00000		教材を用いて、
	, ,	3	3	きまり何のために	C 規則の尊重	00000	建続す	- る 2 時間で組む
1 学 期		1	4	権利と義務	C 規則の尊重	○○○○ (●●資料集)	\supset	短い期間の中に、 2回組む
期	5 月	2	5	自他の生命の尊重	D 生命の尊さ	OOOOO (「私たちの道徳」:	文科省)	
		3	6	まごころの形	B 礼儀	00000		
		4	7	長所と短所	A 個性の伸長	00000		

道徳教育推進教師の役割 ~年間指導計画等の作成~

道徳教育の全体計画に基づく道徳科の年間指導計画等を作成すると、 計画的、発展的な指導が可能となります。



道徳科の授業におけるICTの活用

07 導入での活用例

<mark>主題に関わる問</mark>題意識や、教材の内容に興味や関心をもてるようにする。

- □大型提示装置に生活場面の写真や映像を大きく提示する。
- □アンケートツールを活用して収集したデータをその場で グラフ化して提示したり、前時の思考ツールの写真を提示したりする。



02 話し合いの工夫の例

★多面的・多角的に考える活用例

<mark>「自分な</mark>らどうするか」という観点から道徳的価値と向き合うとともに、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。

- ①自分の考えをもつ
- □協働学習支援ツール を活用する

「規則の尊重」と「親切、 思いやり」とのいずれの 立場を重視するかについ て自分の考えを選択し端 末に入力する

②他者の考えを知る

□端末で他者の考えを知る



③他者と議論する

相互の考えについて根拠に基づき、 議論する

④全体で共有し考える

□端末に入力した全体 の考えを共有し、振 り返る中で考えを深





★自分自身との関わりの中で深める活用例

他者との合意形成や具体的な解決策を得ること自体が目的ではなく、多面的・多角的な思考を通じて、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める。

①他者と議論する

誠実とはどのようなこ とかを議論する



②自己を見つめる

□自分が大切にした い誠実な心に向き 合って、整理し、 端末に考えを表記

③教師が把握する

■教師が端末に入力 されたそれぞれの 考えを把握・整理 し、全体に共有す

④全体に紹介する

意図的に指名をして全 体に紹介する







03 終末での活用例

<mark>子供たちがより</mark>よい生き方の実現への思いや願いを深められるようにする。

<mark>□自己を見つ</mark>め考えたことを端末に書き込み蓄積する。



「考え、議論する道徳」 への転換を図る

令和2年度長野県道徳教育研究推進校

A小学校の取組 授業者 B 先生

no image

答えが一つではない道徳的な課題を、一人一人の児童が自分自身の問題として とらえ向き合い、友との関わりを通して、自らを振り返り自己の生き方につい て考えを深める「考える道徳 | 「議論する道徳 | の授業に向けた A 小学校の先 生方の挑戦。

「考える道徳」 「議論する道徳」を目指した授業実践からみえてきたこと

no image

ねらいとする道徳的価値 から児童の実態を捉える

no image

児童が問題意識をもつ 導入の工夫をする

道徳的価値について 教師自身が理解する

no image

教材を活用する

no image

no image

道徳的価値を実現すること ができない人間の弱さを 登場人物の姿から考える

no image

ねらいを明確にして、

登場人物の葛藤場面で、自分の 考えをもつ時間の確保をする

no image

明確にしたねらいに向かっ

て、何を語り合うかを見極

める中小発問を考える

児童の考えや思いに寄り添い、子供の声に 傾聴し、道徳的価値について子供と共に考える



子供たちの思考を可 視化した構造的な板 書を心がける

no image

自己の生き方について 考えたことを整理し まとめる時間を確保する

さらに、自らの生き方について考えを深めるために…

B先生の子供の思いに寄り添う「考え、議論する」道徳授業の実践 主題名 友だちのために(内容項目 友情、信頼) 教材名「友の命」 「友だちとの友情を深めるために大切にしたいこと」の問題意識の共有、「どうしてデモンは、 『ピシアス君、なぜもう少し遅れなかったのか。ぼくは、君に代わりたかったのに…。』と言った のだろう」と登場人物の思いに自分を寄せる発問と二人の関係から道徳的価値に迫る問い返し。

デモン

児童:大切な友だちだから。

つながっていくと思います。

「友情、信頼」は双方向の関係

磨き合い、高め合える関係の大切さを二人の姿から考える。

教師: どうしてデモンは「ピシアス君、なぜもう少し遅れなかったのか。ぼくは、君に代わりたかったのに」と言ったのでしょう。 児童: デモンが自分のために殺されたら、ピシアスは一生罪みたいな

ものを感じながら生きていかなければいけない。

教師: どうして二人はこんなにも信じ合えたのだろう。 児童: 前にも(二人は)お互いに助け合っていた。

no image

教師が道徳的価値に対する子供の課題を掴み、ねらいとする道徳的価値 を教師が理解し、本時に考えたい道徳的価値を子供と共に悩み考え合うこ とが、子供が自分を見つめ、友とよりよく生きようとする道徳科の授業に

no image

同一の内容項目の教材を 関連させた道徳授業

C中学校の取組 授業者 D 先生

no image

<mark>同一の内容項目を扱う際、複数の読み物教材にある登場人物の気持ちや葛藤を 関連させ、生徒が過去の学びにおける自らの考え方を振り返ることができるよ うにすることで、道徳的価値の理解をさらに深めていく授業への試み。</mark>

主題名「自分で考えて行動し、行動に責任をもつ」内容項目:自主、自律、自由と責任 教材名 本教材①「許せないよね」(「きみがいちばんひかるとき」2年 光村図書) 関連教材②「カラカラカラ」(「きみがいちばんひかるとき」2年 光村図書)

過去の学習を振り返り、その時の自己の考えを振り返る

本教材①をもとに「行動には責任が伴う」ということについて自己と向き合って考えられるようにしたい。そのために、同じ価値を扱った過去の学習②で「自分で考えて行動すること」を想起し、自己の考えを振り返ることができる場を設けたい。

no image

教材①の 「香織」 自分でよく考えることなく、友を疑う千佳の言葉に安易に同調してしまったことから、友との関係が悪くなってしまった香織の行動について考える。

教材2の 「達也」 電車の中で転がる缶を拾おうと思ったが、友だちの 視線を気にしてしまい行えずにいる達也の葛藤につい て、その時の自分の考えを確かめる。

達也ができなかったのはちょっとわかる

自分で決めたことでも難しい

二人の姿から、道徳的価値を改めて見つめ直す

二つの教材の登場人物の後悔の姿から「行動と責任」について考える。

道徳的な価値が実現されず、こんなつもりじゃなかった「香織」 実現させることの難しさの葛藤の中で、本当はこうしたかった「達也」

後悔はしたくないけれど、香織の行動に共感はできる

現実にはとても勇気がいるし、難しいことだと思う

自分で考えて行動し、 その行動に責任をもつとは どういうことなのか



一面的な見方から 多面的・多角的に考えを発展させる

no image

C中学校の取組から学ぶこと

道徳的価値の理解を、 自分との関わりの中で深める

no image

香織と達也の気持ちを関連付けて考えることで、自己の学びを振り返りながら、道徳的価値の実現の難しさを今の自分に引き寄せて考え、道徳的価値の理解をさらに深めていました。

C中の取組から、同一内容項目の教材を扱う際、過去の学習での自己の考え を振り返り関連させることによって、道徳的価値についての理解をより深め、 自己の考えの変容や成長を実感することにつながっていくことが見えてきます。

自分の考えを語ることの できる授業をめざして

令和3年度長野県道徳教育研究推進校 F小学校の取組

E 小学校の取組 授業者 F 先生

no image

「道徳の授業で、友達の考えを聞きたい」と意識が高まってきている子供たち。 一人一人が自分の考えをもち、語りたくなるような授業を目指したい。

主題名 「本当の友情とは」 内容項目:B友情、信頼

教材名 「ロレンゾの友達」 (「きみがいちばんひかるとき」6年光村図書)

主題に対する興味や関心を高める導入の工夫

事前アンケート「友達ってどんな人」の結果を提示

no image

T: 「裏切られても許せる人」というのがあるね。 どんなときでも許せるのかな?

えっ…? それは無理かな…

本当の友情って何だろう

アンケート結果をもとに、自己の友達に対する気持ち を確かめられるような問いかけによって、子供たちの 主題に対する興味や関心を高めるようにしました。



子供たちが語りたくなるための発問の工夫

物事を多面的・多角的に考えるための発問

あなたがロレンゾの友達だった ら、三人の誰に一番近い考えを もちますか?

> 三人の立場や考え方の違いを 構造的に示した板書



アンドレ:大切な友達だし、つか まってほしくないから逃がす

サバイユ:自首をしない理由があるなら聞いてあげたい

ニコライ:罪を犯したのなら、かば うことはできない…自分も悪くなる

自己を見つめるための発問

かしの木の下で話合ったことを、ロレンゾに伝えなくてよかったのかな…?

罪を犯していないなら、 伝える必要はないかな

裏切ったように思われるかもしれない

罪を犯したということ で話していたから、そ の場の空気が悪くなる no image

ロレンゾは、自分のため に考えた、ということを 聞いたら嬉しくなるかも

疑ってしまったからごめ んねとあやまった方がい いと思う

グループによる話合い

自己の生き方について考えを深めるための発問

「本当の友情」ってなんだろう

導入での問題意識に立ち返り、 自己の生き方について考えを 深めようとしています。



E小学校の取組から学ぶこと

立場を明確にさせながら話合いが進むように、板書の工夫をしたり、教師が話合いをコーディネートしたりすることで、子供は、自分と友達の考えを比べながら考え、語り合っていました。F先生は「なるほど」「それはどうしてなの?」と子供のつぶやきを捉えたり、発言に対して丁寧に応えたりしていました。子供たちの思いを大切にしている先生の姿も、子供が語りたくなるような授業につながっていました。

問題意識を引き出すための 導入の工夫

G中学校の取組 授業者 H 先生

no image

生徒が人間としてのよりよい生き方を求め、共に語り、共に考え合うことのできる道徳科を目指すG中学校の先生方。その実現に向け、生徒の問題意識を引き出す導入のあり方について研究を進めました。

生徒の問題意識から始まる授業にしたい

一方的に進めて いたかなあ…

no image

生徒と共に語り、考え合うような授業がしたいね!

生徒は問題意識をもつことができていたのかな?

生徒と共に据える「学びのテーマ」を軸にして、 「考えたい」「語りたい」「聴きたい」を生み出す授業にしよう!



- ▶「学びのテーマ」を据える導入場面での発問の工夫(手だて①)
- ➤ 生徒の思いや考えを集約するためのICTの利活用 (手だて②)

全員の問題意識から据える学びのテーマー〜ICTを活用して〜

主題名 「友情とは何だろう」内容項目:B 友情、信頼 教材名 「親友 | (「きみがいちばんひかるとき」1年光村図書)

いなきゃだめ かけがえのない

T: 一人一人の考えを 見ていこう

no image

T:印象は?

T: みんなにとっての友達って?

「大切な人」が多かったよ

T:では、友達のことって大切にしてる?

えっと…そう言われると…

【学びのテーマ】 改めて「友達を大切にする」って どういうことか考えていこう 主題に関わる現在の考えを明確 にする発問をする(手だて①)

全員の現在の考えを、クラウドを利用した付箋ツールで確認する場を設ける (手だて②)

共有された考えから、 自分の道徳的実践を見つめ直す ための発問をする(手だて①)

この場面で、生徒は「えっと・・・」 とつぶやいています。教師が明確な 意図をもって手だてを行ったことで、 生徒が立ち止まり自分を見つめ直す ことにつながっていますね。



研究を通してH先生が得たこと

no image

生徒全員の考えから学びのテーマを位置付けたいと願い、導入においてどのような発問をすればよいかを考えるようになりました。本時では、導入の場面で生徒が問題意識をもつことができたことで、これまでの経験を振り返り、これからの人間としての生き方について語る姿につながったように思います。

内容項目

	コンナスターナナスの名とナナーンパー	マイスがって十次のおよ子十(たの)		中字校 (22)	
裁判の判所	王CO、日の日の日の下回。 つして、 意味の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日の日	・ ドレイ・ ・ 年齢の ロー・カー・ この 一般になって コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コー・コ	A 王COへ日が日が下因するこの (1) 自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動を		
自律、自由と責任		(1) 止しいと判断したことは、目信をもって行うこと。	\$52 £.	(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え。判断し、極実に 部分・フェルを指す。またものである。判断し、極実に	自主自選
正直、賦実	(2) うそをついたりごまかしをしたりしないで、紫国に仲 び伸びと生活すること。	(2) 過ちは素値に改め、正直に明るい心で生活すること。	(2) 誠実に、明るい心で生活すること。	米汀してその結果に責任なもつこと。	日田の東江
節度、節制	(3) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をすること。	(3) 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をすること。	(3) 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解 し、自分の生活を見置し、節度を守り節制に心掛けること。	(2)望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、 節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をすること。	節度. 節制
個性の伸長	(4) 自分の特徴に気付くこと。	(4) 自分の特徴に気付き、長所を伸ばすこと。	(4) 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして死実した生き方を追求すること。	# 向上心. 個性の伸長
希望と勇気. 努力と強い意志	(5) 自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	(5) 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い点志をもち、 粘り強くやり抜くこと。	(5) より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	(4) より高い目標を設定し、その連成を目指し、希望と順気 をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり運げること。	f 希望と勇気 克己と強い意志
真理の探究			(6) 其理を大切にし、物事を採购しようとする心をもりこと。	(5) 真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	4 真理の探究、創造
B 主として人と	主として人との関わりに関すること		B 主として人との関わりに関すること		
親切、思いやり	(6) 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	(6) 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	(7) 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること。	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自	£
超级	(7) 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	(7) 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた画動者に, 華敬と慇懃の気持ちをもって接すること。	(8) 日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	分があることに懸置し、進んでそれに応え、人間敷の種等を楽めめこと。	地に下り、南郷
礼儀	(8) 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	(8) 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	(9) 時と塩をわきまえて、礼機圧しく真心をもって接すること。	(7) 礼儀の着義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	北震
友情, 信頼	(9) 友達と仲よくし、助け合うこと。	(9) 友達と互いに理解し、情頼し、助け合うこと。	(10) 女様と互いに信義し、少び合って友情を深め、践有に しいても理解しながら、人間囲張を扱いていくこと。	(8) 友情の暮さを迎禁して心から信頼できる友強をもち、互いに別まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや関康も辞抜しながら人間既条を深めていくこと。	まま 女情, 信頼
相互理解,寬容		(10) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	(II) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、課金ならをもち、広い心で自分と異なる意見や立場を募重すること。	(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を職能し、いるいろなものの見方や考え方があることを理解し、意図の心をもって課題に他に学び、自らを高めていくこと。	相互理解, 寬容
C 主として集団	主として集団や社会との関わりに関すること	日本の一方に 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	C 主として集団や社会との関わりに関すること		TANKS MANUAL PROPERTY.
規則の尊重	(10) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	(11) 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	がやきまりの豪義を理解した上で進んでそれらをす。 自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。	(10) 法やきまりの薔薇を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、鬱薇を繋んして、緑津ある安定した社会の実現に致めること。	憲法精神, 公德心
公正, 公平, 社会正義	(三) 自分の好き嫌いにとらわれないで接すること。	(12) 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	(13) 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、 公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	(11) 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、変別や偏見のない社会の実現に努めること。	公正,公平, 社会正義
動労、公共の精神	(12) 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。	(13) 働くことの大心さを知り、油んでみんなのために働くこと。	(14) 働くことや社会に奉仕することの充実際を味わうとと もに、その意義を理解し、公共のために役に立つことを、 すること。	(12) 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神 をもってよりよい社会の実現に努めること。 (13) 勤労の尊さや意義を理解し、特殊の生き方について書	社会
	-				圖光
家族愛. 家庭生活の充実	(13) 父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 素族の役に立つこと。	(14) 父母、祖父母を敦愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	(15) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族愛, 家庭生活の充実
よりよい学校生活。 集団生活の充実	(34)	(15) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで望力し合って楽 しい学級や学校をつくること。	(16) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよ りよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中で の自分の役割を自覚して集団生活の光実に努めること。	(1) 教師や学校の人々を敬愛し、学歌や学校の一員として の自覚をもち、協力し合ってよりよい校園をつくるとと 上に、様々本集団の意義や薬団の中での自分の役割と責 任を自覚して集団生活の光宗に努めること。	よりよい学校生活, 集団生活の充実
伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する	(15) 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、 壁着をもって と。	(16) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛	(17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を	(16) 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や 高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚 をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	を 類土の伝統と文化の尊重。 網土を愛する態度
態度	_	_	知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。	(ii) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとと もに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び 社会の形成者として、その発展に努めること。	。 我が国の伝説と文化の尊重 国を愛する態度
国際理解,国際親善	(16) 16	(17) 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。	(13) 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自 覚をもって国際観音に努めること。	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	国際理解 国際貢献
ロー主として生命や自然。	命や自然。崇高なものとの関わりに関すること		D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	関すること	
生命の尊さ	(17)生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	(18) 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	(19) 生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのな いものであることを理解し、生命を静重すること。	(19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含め て理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	生命の尊さ
自然愛護	(18) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	(19) 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。	(20) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	(20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の整護に努めること。	自然愛護
膨動、異敬の念	(19) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	(20) 美しいものや気高いものに移動する心をもつこと。	(21) 美しいものや気高いものに慇懃する心や人間の力を起えたものに対する畏敬の念をもつこと。	(21) 美しいものや気高いものに駆動する心をもち、人間の 力を超えたものに対する異敬の念を深めること。	感動, 畏敬の念
よりよく生きる喜び	æ		(22) よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、 人間として生きる常びを感じること。	(22) 人間には自らの弱さや離さを克服する強さや気悪く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに関びを見いだすこと。	よりよく生きる喜び

校庭の片隅で二人は松の木を見上げています。風が吹いて松ぼっくりが落ちてくるのをじっと待っているのです。 空には雲が流れ、風の声、木々の声がきこえます。それは声なき二人だけの対話。

対話を

長野県教育委員会 学校・家庭・地域で心の教育のあり方や連携について考え合う「豊かな心を育む教育フォーラム」を開催しています。 長野県道徳教育推進委員会 講演会や分科会での話合いを通して、学校・家庭生活、地域社会における道徳教育の推進を図ります。

文部科学省令和3年度全国学力・学習状況調査[児童・生徒質問紙]「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか?」の項目について、肯定的な回答の割合が年々高まってきています。「道徳 楽しいよ」という長野県の子供たちの声がきこえてくるようです。各校の道徳教育推進教師を中心とした先生方の日々の授業改善の賜物と受け止めております。

(長野県教育委員会事務局学びの改革支援課)